

大雪山国立公園 の山々



旭 岳

大雪山国立公園連絡協議会



大雪山国立公園

持ってきたものは全て持ち帰る
持ってこないものは何一つ持ちださない
国立公園は、国民共通の財産です。

発 行：大雪山国立公園連絡協議会
TEL 01658-2-2574 FAX 01658-2-2681

【関係機関連絡先】
環境省北海道地方環境事務所

上川自然保護官事務所 TEL 01658-2-2574 FAX 01658-2-2681
東川自然保護官事務所 TEL 0166-82-2527 FAX 0166-82-5086
上士幌自然保護官事務所 TEL 01564-2-3337 FAX 01564-2-2933

大雪山国立公園の山々

大雪山国立公園は1934年12月4日に指定を受けたが、指定理由は「広大な原始山岳環境」だった。日本一大きな国立公園である。また、北海道の屋根とも言われている一大山岳公園でもある。大雪山は一つの山の名称ではなく、北海道の中央高地を形づくる山々の集まりを指している。アイヌの人々は石狩川源流域にあるこれら山々を、ヌタカムウシュベ（川が曲がりくねった場所の上にいつもいるもの）あるいはカムイミントラ（神々の遊ぶ庭）と雄壮でそして天上の美しさを表現していた。

一般に大雪山国立公園の山々は北大雪・表大雪・東大雪・十勝連峰の4山城に分けられ、2,000m前後の山々が連なっている。北海道の最高峰である旭岳でも標高が2,291mで全体的になだらかな山並みが続くが、気象条件は緯度の関係で本州の3,000m級の山々に匹敵する厳しい山岳環境でもある。そのため森林限界が1,500m前後と低く、この上部の高山帯が広く展開しているのが大雪山国立公園の山々の特徴である。

大雪山国立公園の山々の春は遅く、秋が早い。7月上旬は未だ残雪が多く、8月中旬には稜線は早くも秋の気配が漂い、9月中旬には初冠雪を見る。いわゆる登山シーズンは6月下旬から10月初旬までである。残る8ヶ月は雪に閉ざされることになりまさに神々のみの山になるのである。

大雪山国立公園の山々の魅力はなんといっても壮大な山岳風景の中に360度のパノラマが展開する広大なお花畑である。2,000m級の山々がつくる景観は雄大で、夏でも残雪が溶けないため、雪渓の白とハイマツの緑と高山植物の美しいコントラストに誰もが驚く。また、桜前線と逆に紅葉前線は大雪山からはじまるが、この紅葉のスケールと美しさも大きな魅力である。

解説文：岡花 博文

写 真：稲場 祐一、岡花 博文、木谷 文彦、田中 厚
原尾 進、藤井 毅、保田 信紀、渡部 伸朗

ウベベサンケ山

トムラウシ山

富良野岳

美瑛富士・美瑛岳

上ホロカメットク山

化雲岳

トムラウシ山

天望山・西ヌブカウシヌプリ

トムラウシ山

白雲岳

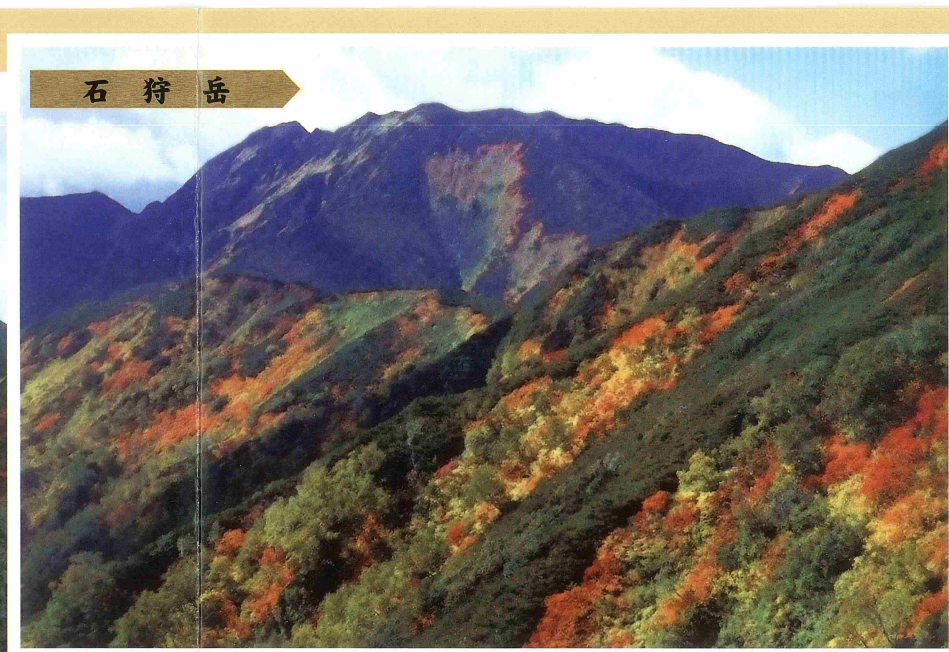
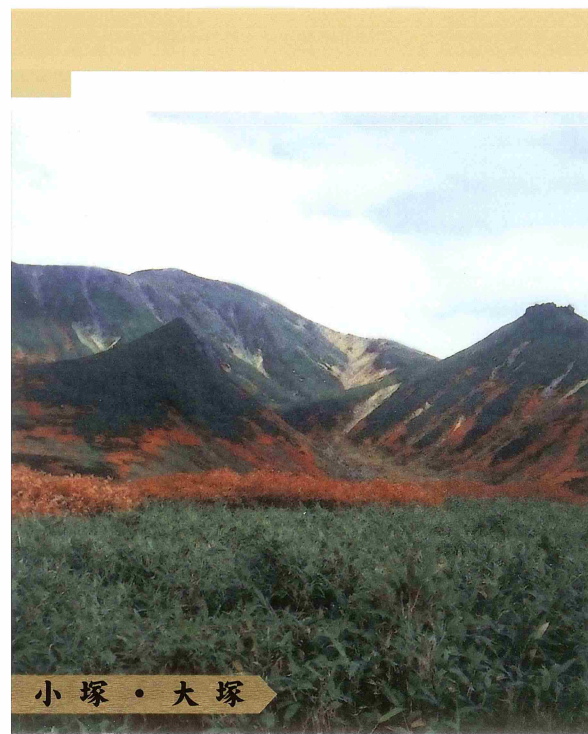
富良野岳

下ホロカメットク山

天望山

西ヌブカウシヌプリ・東ヌブカウシヌプリ・白雲山・天望山

ニペソツ山



石狩岳

小塚・大塚



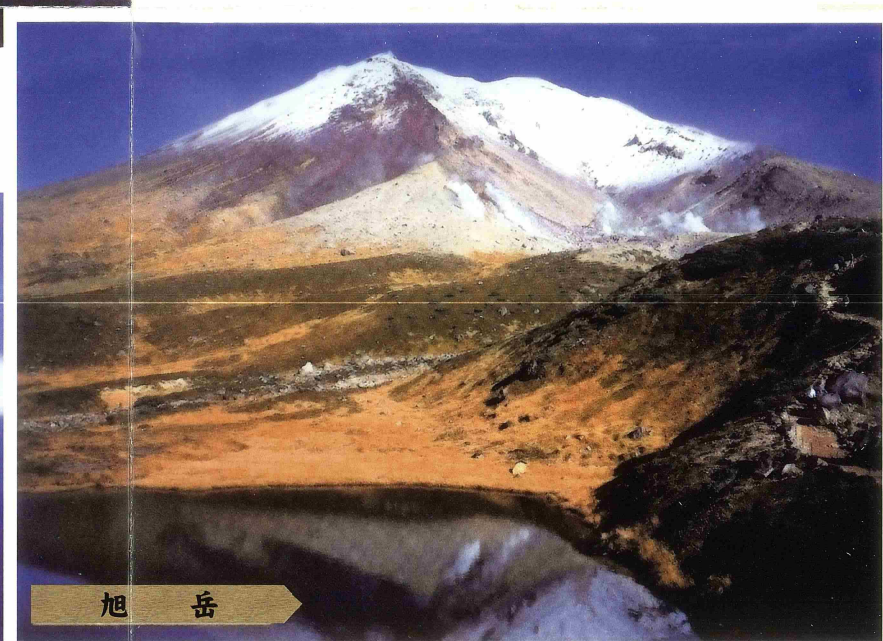
石狩連峰



十勝岳



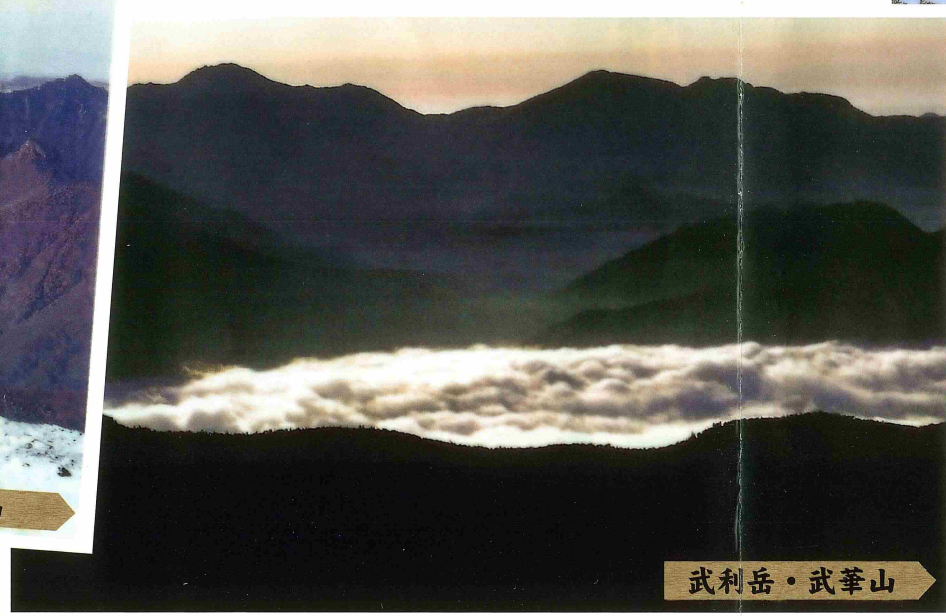
オブタテシケ山



旭岳



ニセйкаウシュッペ山



武利岳・武華山



緑岳



北鎮岳



黒岳



愛別岳



北鎮岳・凌雲岳・愛別岳・上川岳



黒岳・凌雲岳・北鎮岳・愛別岳